

空の移動革命実現に向けた東京都官民協議会

(第 1 回)

2024年6月18日 (火)

「未来の東京」戦略 version up 2024（抜粋）

東京のプレゼンス向上

次世代モビリティの社会実装を加速

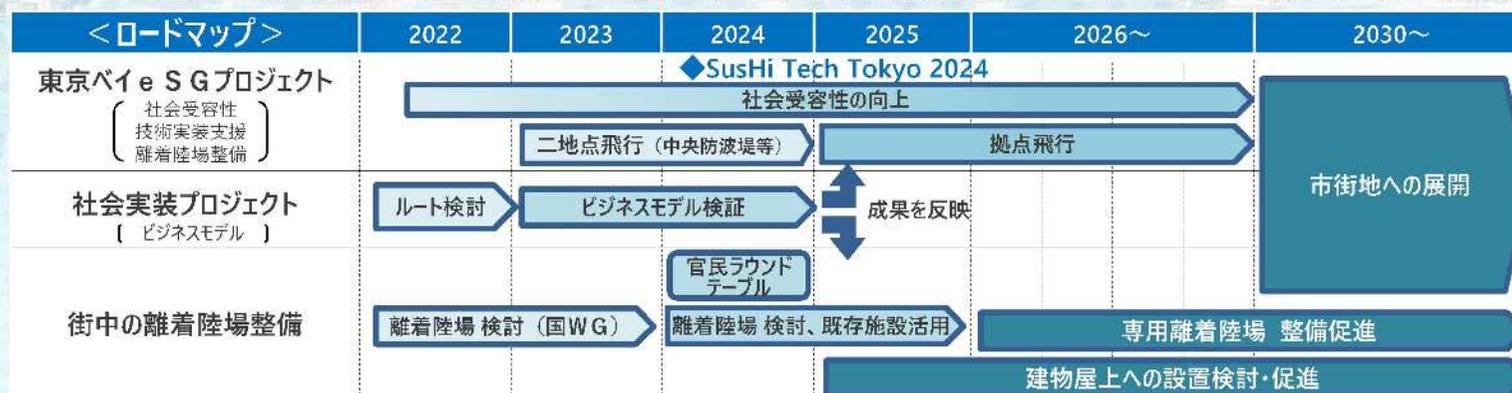
戦略 9・10

SusHi Tech Tokyo 2024等を契機に、国や民間との連携の下、自動運転や空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの実装を加速し、東京を多様なモビリティサービスが利用できる都市へと進化

空飛ぶクルマの社会実装

◆ ロードマップを道しるべに、実装を加速

- ・2030年代の市街地への実装に向け、機体認証や空域・運航基準など国の動向も踏まえ、社会受容性向上、技術実装支援、離着陸場整備支援等を推進
- ・「SusHi Tech Tokyo 2024」で、中央防波堤エリアをはじめとした臨海部において、都内初となるデモフライトを実施
- ・運航事業者等との官民ラウンドテーブルを設置し、離着陸場整備等に向けた検討を加速。まちづくりに合わせた離着陸場設置等に関する調査を実施
- ・各プロジェクトの成果も踏まえ、2025年度以降に拠点飛行による活用事例の創出プロジェクトへと展開し、複数ルートでの都内飛行を実現



次世代モビリティの導入により、人々のQOL、都市の魅力・プレゼンスを向上

設立趣旨

- 空飛ぶクルマは、**世界で熾烈な開発競争が繰り広げられており**、技術開発が進んでいる。この技術は、交通渋滞や事故の回避、迅速な物資輸送など、人やモノの移動革命をもたらし、人々のQOLを高めるだけでなく、都市の魅力、ひいてはプレゼンスの向上につながる。一方で、**都市への実装には魅力的な環境整備など**、具体的な内容を示していくことが重要である。
- 東京都においては、これまで「東京ベイeSGプロジェクト」において空飛ぶクルマの社会受容性向上を目指す事業を推進するほか、都内での空飛ぶクルマを活用したサービスの速やかな社会実装を目指し「都内における空飛ぶクルマを活用したサービスの社会実装を目指すプロジェクト」の取組を進めている。
- さらに、令和6年1月「未来の東京」戦略 version up 2024において空飛ぶクルマ社会実装ロードマップを策定し、引き続き計画的に取り組みを進めている。
- そのため、**様々なステークホルダーと連携して**、東京都における**都内の離着陸場整備**や**空飛ぶクルマの活用事例創出**に向け、**具体的かつ実践的な協議・活動**の核となる「空の移動革命実現に向けた東京都官民協議会」（以下、「官民協議会」という。）を設立し、東京都における空の移動革命の**社会実装に向けて取り組みを加速**する。

今後の検討概要

- 空飛ぶクルマの社会実装に向けた、**活用事例の創出プロジェクト（仮称）**の構築が目標
- 具体的な事業スキーム案の作成のため、幅広く事業者へヒアリングを実施
- ビジネスモデルの構築に必要な事項の整理

R6年度スケジュール案

第1回（6月）

- ・キックオフ会議（各主体の取組状況の共有等）

実務者WG（3回程度開催）

- ・関係事業者へ広くヒアリングを実施、意見等集約
- ・ビジネスモデルの構築に必要な事項の整理
- ・環境整備等について検討

第2回（1月）

- ・次年度の取組方針について